

災害に備える

平成28年6月豪雨で大井手川から道路にあふれた濁流（緑町区）

本町を流れる一級河川の緑川。清正公が治めたかつての暴れ川は、私たちに多くの恵みをもらたしています。一方で、平成28年6月の豪雨では河川が氾濫し、大きな爪痕を残しました。

川と共に生きる暮らしは、自然災害を受け入れる覚悟が必要です。「もしも」の時に命を守るための備えについて考えてみましょう。

■雨の季節を前に

まもなく梅雨や台風といった雨の季節を迎えます。球磨川流域を中心に大きな被害が発生した「令和2年7月豪雨」のような人命が脅かされる災害の危険も高まります。

本町も、過去に1時間当たりの総雨量が150㎜という記録的な大雨を経験しています。平成28年6月20日深夜から翌朝にかけて降り続いた雨は、河川の氾濫による家屋の浸水や道路の崩落など多くの被害をもたらしました。

災害は、いつでもどこ、どのような形で発生するのかわからないものです。日ごろから地域防災に対する意識を高め、しっかりと準備をしておくことが大切な命を守ることにつながります。

■町が発令する避難情報

台風や大雨などにより災害発生のおそれがある場合には、



町くらし安全推進室
久米 修永 係長

住民の皆さんを災害から守り被害の拡大を防止するため、町では避難に関する情報を発令します。

町が主に発令する避難情報は、高齢者や障がい者といった避難に時間が必要な人に早めの避難を促す「高齢者等避難」（警戒レベル3）と通常の避難行動ができる人に避難を促す「避難指示」（警戒レベル4）の2つがあります。

避難に関する情報が発令されたら避難行動をとりましょう。避難情報の発令は、気象状況や河川の水位などを基に判断します。町公式ウェブサイトや防災無線による一斉通報、携帯電話などの「エリアメール」、メールアプリ「こうさく」などで伝達します。避難する場合は、慌てずに周りの状況を見て行動しましょう。

■命を守るための努力を

内閣府が示している「避難情報に関するガイドライン」では、住民などが持つべき避難に対する基本姿勢として、行政に依存し過ぎることなく、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自主的な避難行動をとることが必要とされています。

被害を軽減するのは私たち



氾濫した河川の土砂で押し流された家屋 (谷内区)



濁流で崩落した護岸 (小鹿区)

一人一人の想像力です。大きな被害は自然の脅威が私たちの想像を上回ってしまった場合に発生します。

かつて、町がまとめた「平成28年熊本地震及び豪雨災害記録誌」には、当時の被害状況や災害対応と共に、地域住民の声が収録されています。被災者が残した「まさかこんなことになる」とは予想もしなかった」という声を私たちは決して忘れてはいけません。

■避難する勇氣を持つ

人間には、自身にとって都合の悪い情報を無視したり、非常時でも根拠なく大丈夫だと判断し平時と同じ行動を選択しようとしたりする「正常性バイアス」という心理が働きます。毎年のように観測記録を更新するような大雨が降る気候変動の時代においてこれまでの経験はかえって危険を招く場合もあります。

土砂崩れや河川の氾濫が起こってしまったら人の力はあまりに無力です。「大丈夫」は絶対にありません。だからこそ、避難が最大の防災であり、自ら行動することが求められます。早めの避難は、決して臆病なことではありません。あなたの大切な人々を悲しませないためにも、行動

する勇氣を持ちましょう。

■地域で災害に備える

昨今の大規模災害時には、自治体の庁舎や職員が被災し、行政機能が低下する事態も起きています。そんな時、頼りになるのが自主防災組織の存在です。

一昨年度までに町内の全域で自主防災組織が設立されています。昨今の大雨でも、一人暮らしの高齢者に避難の声掛けを連携して行うことで、早めの避難行動につながるといった、住民主体の取り組みで難を逃れた事例が多数あります。皆さんの自主的な行動が、町全体の防災力向上にもつながります。

自主防災組織の活動は、日

常的な近所付き合いの延長です。コロナ禍で住民同士の交流機会が減少している今、改めて地域とのつながりを見直すことが大切です。

■自分を守ることで他人も守られる

過去の大災害では、逃げ遅れた住民を救助に向かった消防団員が命を落としてしまうといった事例も報告されています。救助を求めることは、助けに向かう人命を危険にさらすことです。あなたが早めに避難し自分の命を守ること、他人も守られるということ、を心に留めておきましょう。

▼お問い合わせ先

町くらし安全推進室

☎ 096-234-1167

甲佐高校を一時避難所として利用する覚書締結

5月19日(木)災害発生時に甲佐高校を一時避難所として緊急利用するための覚書を締結しました。この覚書に基づき、大雨などにより同校の周辺地域で急に水位が高まるなどして命の危険が差し迫った場合に限り、地域住民の緊急避難場所として一時的に開放されます。



覚書を持つ奥名町長と甲佐高校の堀川校長(左)

「もしも」の備えで「いつも」を守る

■災害時に自分の命を自分で守れるように

いつどんな災害が起こるか分からない昨今、自分の命を守るができるのは、自分自身だけです。いざというときにすぐ避難できるよう準備をお願いします。

「もしも」を想像して、「いつも」の毎日をどう過ごすか。大きな災害が毎年のように発生する今こそ、想定外を乗り越えるためにあなたができることを考えてみましょう。

■01 防災マップで身の回りの危険個所を把握

町では、浸水想定区域や土砂災害の危険個所を示した「甲佐町総合防災マップ」を作成しています。自宅や職場付近だけでなく町指定避難所までの経路に危険な箇所がないか確認しておきましょう。



■02 避難先と避難経路を家族みんなで共有

避難する場所やタイミングといった各自の行動計画をまとめたものが「マイ・タイムライン」です。一人一人の避難行動を事前に作成し、共有しておくことで家族が別々の場所にいる場合でも、お互いの安全確認の助けになります。



■03 非常時の持出品や非常食を点検する

各家庭で準備する避難用品や非常食などの「非常持出品」。定期的に中身を点検し、電池切れや賞味期限切れを防ぎましょう。非常食を普段の食材ストックの延長と捉えて定期的に入れ替える「ローリングストック」が有効です。



■各警戒レベルに基づく町民や町の行動

	災害情報などの目安	町民の行動	町（役場）の動き
警戒レベル 5	<ul style="list-style-type: none"> 大雨特別警報 災害が発生 氾濫発生情報 	命を守る 最善の 行動	<ul style="list-style-type: none"> 「緊急安全確保」の発令 ※発令できない場合あり
《警戒レベル4までに必ず避難》			
警戒レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒情報 災害が緊迫 氾濫危険水位超える 	危険な場所から 全員避難	<ul style="list-style-type: none"> 「避難指示」の発令
警戒レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報 洪水警報 避難判断水位超える 	危険な場所から 高齢者 などは 避難	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者等避難」の発令
警戒レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意水位超える 	自らの避難行動 を確認する	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報を収集 避難所の開設準備
警戒レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> 今後気象状況が悪化するおそれ 	災害への心構えを 高める	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報を収集

内閣府が示した「避難情報に関するガイドライン」について詳しくは

内閣府「防災情報のページ」をご確認ください。

内閣府 避難指示

正しい状況判断は 正確な情報の収集から

■「もしも」の時に冷静な判断ができるように

災害から自分の身を守るためには、刻々と変化する情報と冷静な判断で安全に避難することが大切です。災害の危険が迫るとともに避難の選択肢が狭まります。いざというとき、ためらわずに行動できるように準備をお願いします。避難を始めるタイミングを逃してしまわないためにも正しい情報の収集手段を確認しておきましょう。

01 町からの情報を避難行動のきつかけに

町では、避難所の開設や災害関連情報を発信します。

町公式ウェブサイト
https://www.town.kosa.lg.jp/

町公式フェイスブック
https://www.facebook.com/KosaTownKumamotoJapan

町公式ツイッター
https://twitter.com/town_kosa

02 気象庁が発表する防災気象情報を集約

気象庁が発表する大雨警報や土砂災害警戒情報などの防災気象情報は、住民の安全確保行動の判断を支援するものです。町が発令する避難指示などの避難情報よりも先に発表されるので、キキクル（危険度分布）や河川の水位情報等と併せて早めの避難行動のきつかけにしてください。

気象庁ホームページ
https://www.jma.go.jp/jma/index.html

03 県の防災情報ポータルサイト

「防災情報くまもと」は、県危機管理防災課によって運営されている、熊本県の防災情報ポータルサイトです。このサイトでは、災害による被害の防止や軽減のために必要な県内各地の気象情報などを集約し公開しています。河川の水位や河川カメラからの映像も確認できます。

防災情報くまもと
https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/?p=top

甲佐町の防災情報がケータイに届く！ 「こうさ情報たしかめーる」登録受付中！

町では、防災行政無線の戸別受信機に代わる新たな情報伝達手段としてメールアプリ「こうさ情報たしかめーる」の運用を行っています。

お持ちのスマートフォンなどに町から災害情報などをお届けするもので、防災無線が聞こえない外出先でも避難所の開設情報などを受け取れます。いざという時に備えて登録しておきましょう。



■登録はかんたんです！

※スマートフォン

- ① 「あんしんメール」アプリ（無料）をインストール
- ② アプリを起動して「新規登録」→画面下部の「お知らせ」→「各市町村の防災防犯メールご紹介」→「熊本県甲佐町（ご登録はこちら）」をタップ
- ③ 登録用空メールアドレス（kosamail@gw.ansin-anzen.jp）が入力されるので「グループに登録」を選択
- ④ 必要事項にチェックして「登録」すれば完了！

※ スマートフォン以外の方は

- ① 登録用空メールアドレス（kosamail@gw.ansin-anzen.jp）に空メールを送信後、届いたメールに記載されたURLを選択し「本登録画面へ」を選択
- ② 必要事項を入力して「登録」すれば完了です！

Android 版	iPhone 版
<推奨 OS> ① Android5 以降（2014 年に公開） ② iOS9 以降（2015 年に公開） ※上記以前のバージョンは非対応	

◀ アプリの取得はこちらから！

